Fitting Guide
フィッティングガイド



roger

Rogerと人工内耳
コクレア社
Nucleus（ニュークレアス） 5・Nucleus（ニュークレアス） 6 サウンドプロセッサ / 携帯型フリーダム

このフィッティングガイドには、どのようにRogerとコクレア社のNucleus 5 (CP810) およびNucleus 6 (CP910) サウンドプロセッサ、そして携帯型フリーダムを使用するべきか、Rogerのパフォーマンスをよりもっとサポートするための詳細情報を記載しています。

オクラホマ州Hearts for hearing財団に所属するJace Wolfe氏の2013年の研究によると、人工内耳とRogerを使用することで特に70 dB(A)から80 dB(A)といった非常に騒がしい環境での言葉の聞き取りが、従来のFMやダイナミックFMよりも大幅に改善すると発表されています。

セットアップ

Roger受信機をサウンドプロセッサに取り付ける方法は以下の2種類です。

サウンドプロセッサ		
人工内耳 Nucleus 5 (CP810) / Nucleus 6 (CP910)	人工内耳 Nucleus 5 (CP810) / Nucleus 6 (CP910)	人工内耳 携帯型フリーダム
 	 	
Roger 14	ユーロアクセサリ用アダプタ + Roger X	携帯型FM接続シュー・ケーブル + Roger X
アダプター / Roger受信機		

注）　Nucleus 6サウンドプロセッサ (CP920)は、Roger 14およびRoger Xを使用できません。Tコイル利用タイプのRoger MyLinkをご利用ください。

注）　耳かけ型フリーダムは、Roger Xを使用できません。Tコイル利用タイプのRoger MyLinkをご利用ください。

PHONAK
life is on

使用する前に・・・

モデル	サウンドプロセッサの設定（推奨）
Nucleus 5 (CP810) / Nucleus 6 (CP910)	ミキシング比率は 1:1 に設定。Autosensitivity™＋ADRO を選択。

Roger X を使用する場合、下記に従い Roger inspiro を使用して Roger X の設定を変更します。

1. Roger X をユーロアクセサリ用アダプタに取り付けます。
2. Roger inspiro から 10 ㎝以内に Roger X を近づけ、左シフトキーを押して【**Check**】を行います。
3. 右シフトキーを押して【**管理画面**へ進み、【**CI モジュール**】を選択し **OK** を押します。
4. Nucleus 5 (CP810) / Nucleus 6 (CP910)は【**設定 9**】、携帯型フリーダムは【**設定 1**】を選択し、**OK** を押します。

モデル	Roger X CI モジュールの設定	Roger X 児童音量調整初期値
Nucleus 5 (CP810) / Nucleus 6 (CP910)	設定 9	0 dB
携帯型フリーダム	設定 1	0 dB

この設定により Roger X のインピーダンスの出力とサウンドプロセッサの入力インピーダンスが整合します。

Roger 14 の取り付け方法







使用方法

ステップ 1：受信機を取り付ける

Roger X
機器の電源をオフにし、ユーロアクセサリ用アダプタにアダプターを取り付け、そのアダプターに Roger X を差します。

Roger 14
機器の電源をオフにし、サウンドプロセッサに Roger 14 を取り付けます。

※　脱落を防ぐため、サウンドプロセッサのアクセサリソケットカバーを可能な限り引っ張り出し、隙間が無いようカチッと音がするのを確認してカバーを閉めて下さい。

ステップ 2：電源を入れる
サウンドプロセッサを装着し電源をオンにします。Roger X はサウンドプロセッサの入力音に合わせて、出力音を自動的に調節します。この調整中（約 1 分）Roger X からビープ音が 1～2 回流れます。これで出力の値が保存されたので、次回からは短いビープ音 1 回だけが使用開始時に流れます。この作業が終わったら Roger マイクロホンの電源を入れます。

ステップ 3：追加する
Roger 送信機から 10 cm 以内に Roger X / Roger 14 を近づけ、追加します。受信機が正しく追加されると、お知らせ音が鳴ります。お知らせ音が聞こえない場合、手動で DAI プログラムに切り替える必要があります。

ステップ 4：確認する
装用者の近くに立って Roger マイクロホンをミュートにし、まずは人工内耳のみで静かな環境下で語音明瞭度を測定します。その後、少なくとも 3m 離れた場所から Roger マイクロホンを使って語音明瞭度を測定します。いずれも聞こえ方に差がないように設定します。

注）　Nucleus 5 (CP810)は、Roger 送信機の電源を切った後、 サウンドプロセッサ本体のアップボタンを 1 回押すか、リモートアシスタントでアクセサリの使用を OFF にしてください。

T コイルで Roger を使用する

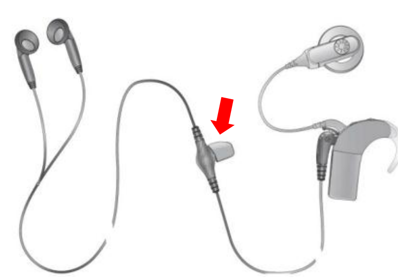
その他の使用方法として、オーディオプロセッサの T コイルを有効にすれば、Roger MyLink を使用することが可能です。



トラブルシューティング

Roger マイクロホンからの音が聞こえない	
• サウンドプロセッサが適切なプログラムに切り替わっていない	➢ サウンドプロセッサを DAI または T コイルのプログラムに切り替える
• Roger 受信機がネットワークに“追加”されていない	➢ Roger マイクロホンで Roger 受信機を“追加”する
• Roger マイクロホンの電源がオフになっている、もしくはミュートになっている	➢ Roger マイクロホンの電源をオンにし、ミュートになっていないことを確認する（取扱説明書を参照）
• Roger マイクロホンが使用可能範囲外にある	➢ Roger マイクロホンが使用可能範囲に入るよう近付ける
• 電池残量が足りない	➢ 新しい電池または十分に充電された電池に取り換える
サウンドプロセッサ側のマイクロホンからの音が小さい	
• ミクシング比率	➢ 使用しているミクシング比率が 1:1 であるか確認し、必要に応じて 2:1、3:1 に適宜調整する
• マイクロホン感度	➢ プロセッサ側で FM プログラムのマイクロホン感度が減衰されていないか確認する
Roger マイクロホンからの音にノイズが入る	
• Roger マイクロホンと Roger 受信機が離れすぎている、もしくは他の障害物（例：身体など）で遮られている	➢ Roger マイクロホンと Roger 受信機の距離を縮める

リスニングチェック

リスニングチェック方法		
ユニバーサルタイプ受信機チェッカー + Roger 14	ユニバーサルタイプ受信機チェッカー + Roger X	コクレア社　モニターイヤホン + Roger 14
		
Roger 14 を Roger 14 / ML14i チェッカーに取り付け(①)、それをユニバーサルタイプ受信機チェッカーのユーロプラグに差しこみます(②)。	Roger X をユニバーサルタイプ受信機チェッカーに直接差し込みます。	サウンドプロセッサに取り付けたモニターイヤホンに直接 Roger 14 を差します。

自動音量調整

Roger からの音量を変更させたい場合、Roger inspiro を使って、Roger 受信機の利得を変更できます。Roger 送信機から 10 cm 以内に Roger X / Roger 14 を近づけ、左シフトキーを押して【**Check**】を行います。受信機が正しくチェックされると詳細情報が Roger inspiro の画面に表示されます。

右シフトキーを押して【**管理**】画面に進みます。【**自動音量調整**】を選択し **OK** を押します。これで受信機の利得を-8 から+8 の範囲で変更することが可能です。